

容器包装リサイクルへの 取り組みについて



秋田県横手市



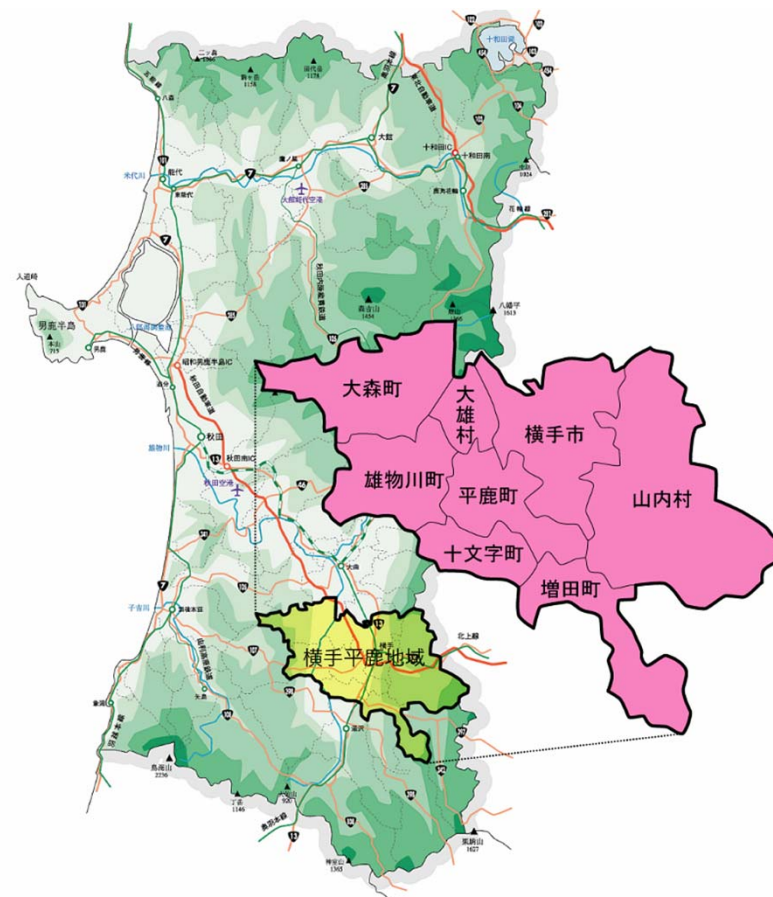
目次

1. 横手市の紹介
2. ごみ処理の現状
3. 容器包装類の処理における問題点
4. 今後の課題・法改正への提案



1. 横手市の紹介 ①

- 秋田県の南部に位置
- 総面積693.59km²
東西約45km
南北約35km
- 平成17年10月に8市町村が合併、県内第2の都市となる。



1. 横手市の紹介 ②

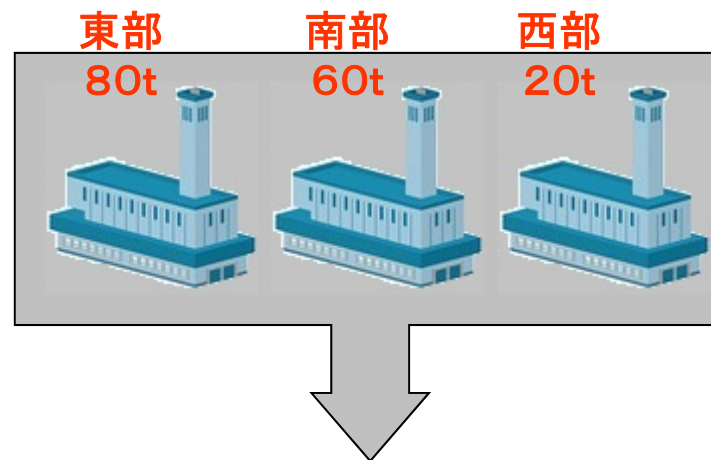
- 本市の人口と世帯数
人口 97,633人
世帯数 34,479世帯数
(平成25年9月30日現在)



- 冬の伝統行事である「かまくら」とともに、近年はB-1グランプリでゴールドグランプリを獲得した横手やきそばで知られるように。

2. ごみ処理の現状 ①

- 現在は、市内3カ所のごみ処理施設で焼却処理・資源化
 - ※ 各施設の処理方式・能力が異なるため、地区（旧市町村）により分別・収集方法が異なる。
- 平成28年度からの本格稼働に向けて現在、新施設「クリーンプラザよこて」の建設に着手。
これに合わせて分別・収集方法の見直し・統一を図る。



クリーンプラザよこて 95t

2. ごみ処理の現状 ②

「クリーンプラザよこて」整備に伴う分別見直し状況

現 行				新 分 別	
大区分	小 区 分			大区分	小 区 分
	東部地区	南部地区	西部地区		
可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	燃やすごみ	燃やすごみ
不燃ごみ	不燃ごみ 乾電池	不燃ごみ 乾電池	不燃ごみ 乾電池	燃やさないごみ	燃やさないごみ
				資源ごみ	資源ごみ (びん・缶・金属類)
無色透明びん	無色透明びん	小型家電			
茶色びん	茶色びん	ガラス・せとの			
その他色びん	その他色びん	金属類			
古紙(新聞・雑誌)	古紙(新聞・雑誌)	古紙(新聞・雑誌)	飲食品用缶		
ダンボール	ダンボール	ダンボール	無色透明びん		
古布	古布	古布	茶色びん		
プラスチック製容器包装類	プラスチック製容器包装類	プラスチック製容器包装類	その他色びん		
ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	古紙(新聞・雑誌・雑紙)		
—	—	生ごみ(一部地域)	ダンボール		
粗大ごみ	粗大ごみ	粗大ごみ	古布		
分別数	4種10分別	4種13分別	4種13分別 (一部地域のみ14分別)	資源物	プラスチック製容器包装類
				ペットボトル	ペットボトル
				生ごみ(一部地域)	粗大ごみ
				粗大ごみ	粗大ごみ
				分別数	4種17分別

2. ごみ処理の現状 ③

- ごみ収集（容器包装類）の実施形態について

- 収集方式・・・ステーション方式（約2,200カ所）

- ※ ペットボトルについて一部地域で
拠点回収を実施

- 収集形態・・・民間委託

- 収集方法及び頻度

- ▶ びん、缶・・・コンテナボックス（月1回）※一部地域で月2回

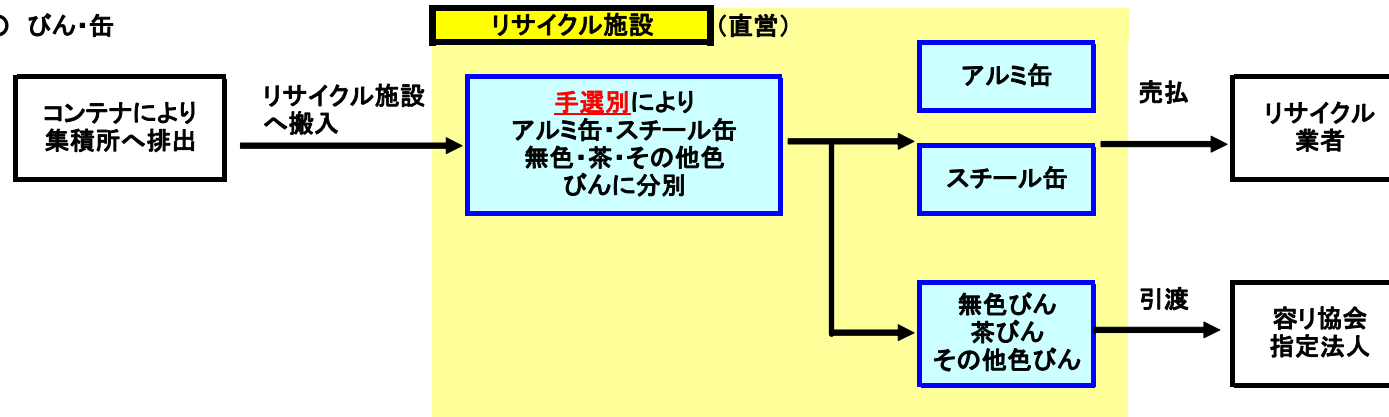
- ▶ ペットボトル・・・ // （月1回）

- ▶ プラ製容器包装・・・指定ごみ袋（有料）（月2回）

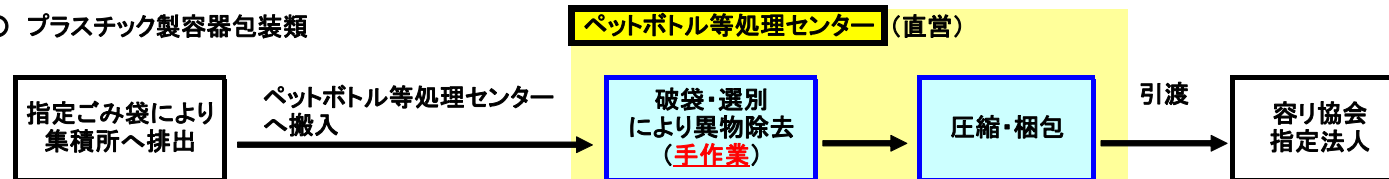
2. ごみ処理の現状 ④

【容器包装類の処理フロー】

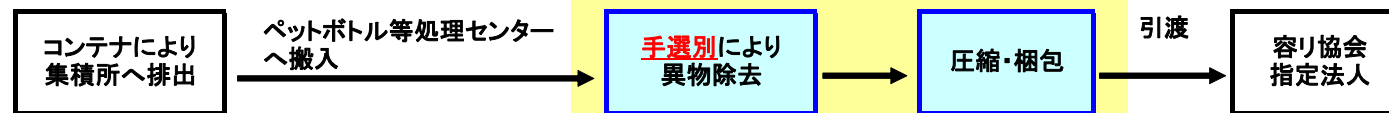
○ びん・缶



○ プラスチック製容器包装類



○ ペットボトル

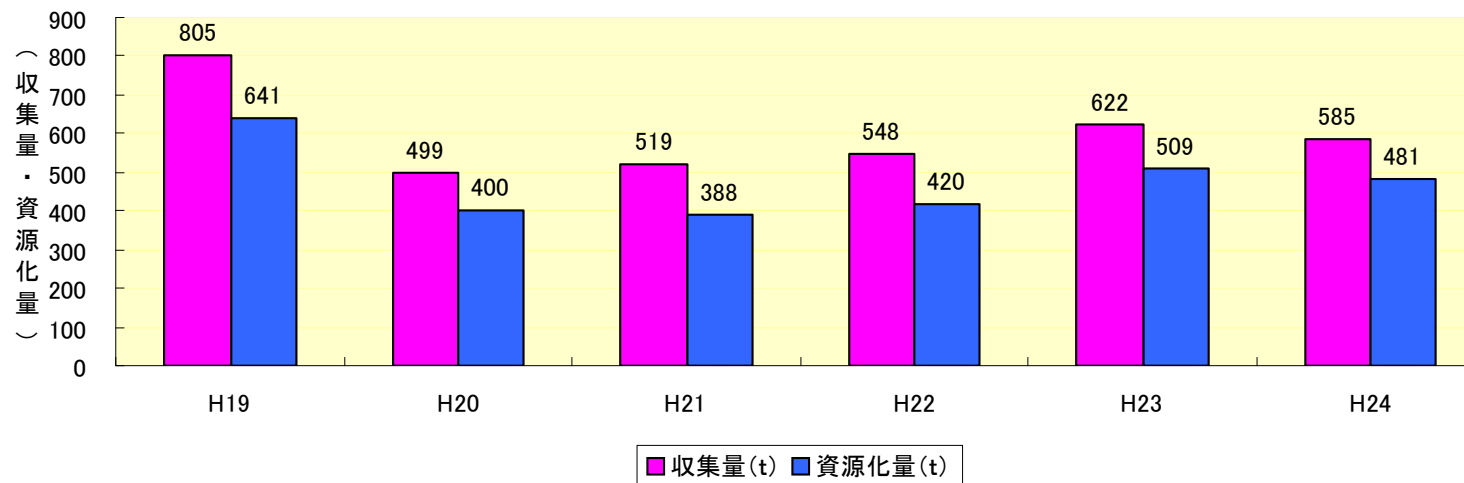


※一部地域では拠点回収用ネットへ排出

2. ごみ処理の現状 ⑤

容器包装類の収集量・資源化量の推移

缶（アルミ・スチール）

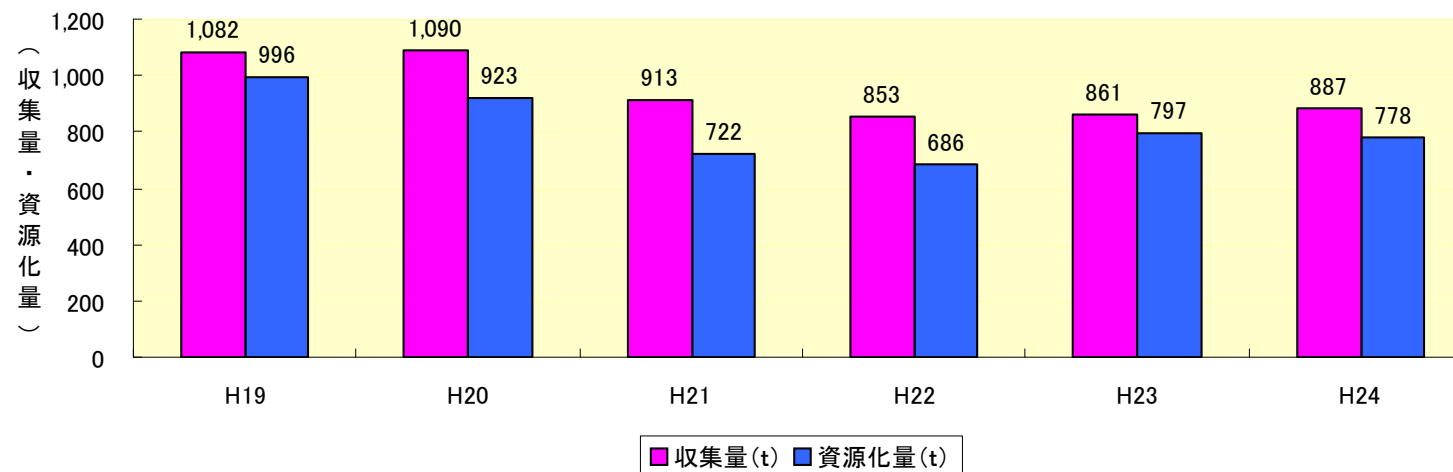


- 収集量は多少の増減はあるが、ほぼ横ばいの傾向
- 収集量の約80%が資源化されている。
- 飲食品用の缶が大部分であり、分別が容易なため、異物混入が少ない。

2. ごみ処理の現状 ⑥

容器包装類の収集量・資源化量の推移

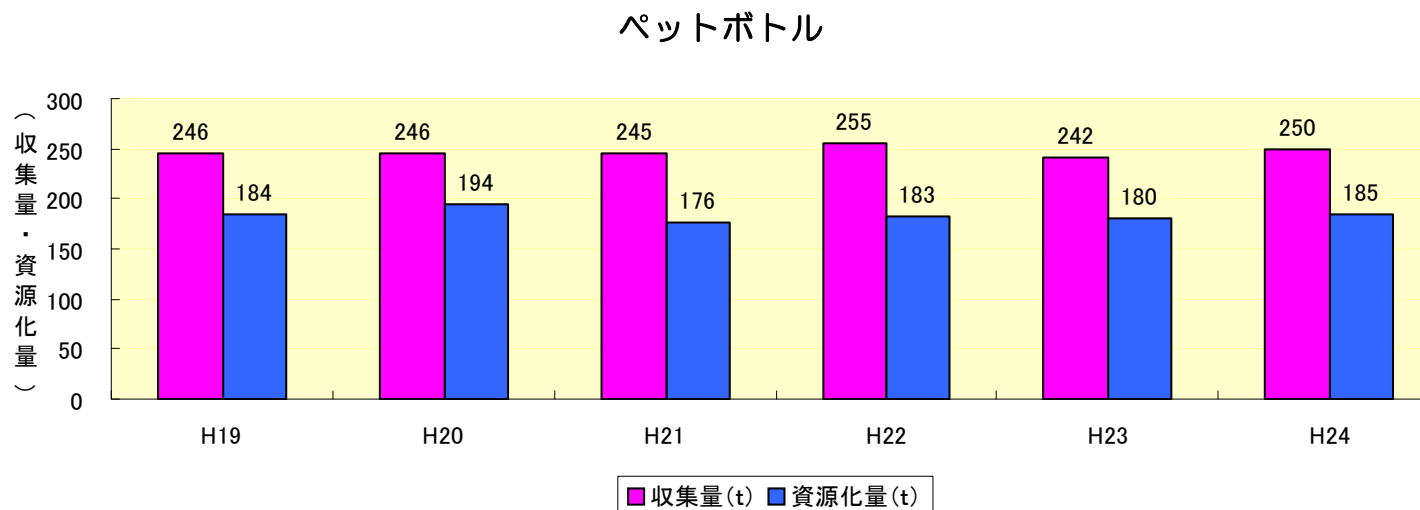
びん（透明・茶色・その他）



- 収集量は多少の増減はあるが減少傾向
- 収集量の約80%が資源化されている。
- 缶と同様に、分別が容易なため、異物混入が少ない。

2. ごみ処理の現状 ⑦

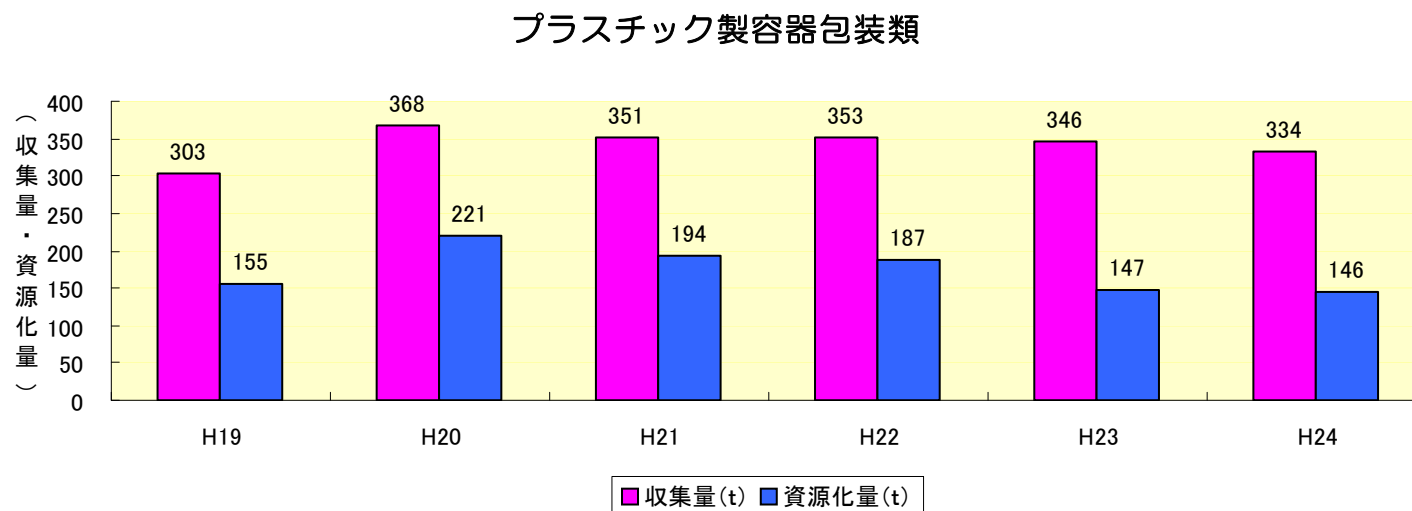
容器包装類の収集量・資源化量の推移



- 収集量は近年ほぼ横ばいの傾向
- 収集量の約70%が資源化されている。
- 単一素材であり分別は容易だが、びん・缶と比較して汚れ・異物のため選別段階で除去されるものが多い。

2. ごみ処理の現状 ⑧

容器包装類の収集量・資源化量の推移



- 収集量は近年ほぼ横ばいの傾向だが、緩やかに減少している。
- 収集量の約50%しか資源化されていない。
- 素材・形状が多種多様であり分別が困難。また、汚れ・異物の割合も多く、選別段階で除去されるものが多い。

2. ごみ処理の現状 ⑨

- 合理化拠出金について

【受入】

拠出金の金額をあらかじめ → 当初予算への計上はなし
積算することが不可

【用途】

受入時に歳入として処理 → ごみ処理施設管理費に充当して
いる。

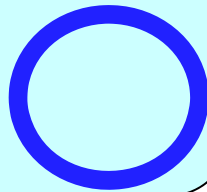
※ 導入当初は市町村にとって財政的インセンティブとなり得た
が、現在は再商品化委託料（小規模事業者負担分としての市
町村負担分）を下回っている。

3. 容器包装類の処理における問題点 ①

- 同一素材・形状でも、容器包装類の対象外のものの存在
(プラスチック製容器包装類)

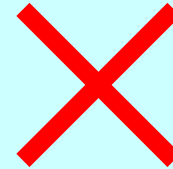
- 衣類等の包装用袋
- 生鮮食品のパック用ラップ
- 説明書・保証書の袋
- レジ袋

など

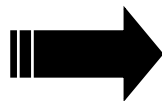


- クリーニング袋
- 家庭で使用したラップ
- 景品・試供品の袋
- メール便等の封筒

など



- 消費者の感覚では、なぜダメなのかわかりにくい。
- 分別が困難



- ▶ 不適物として除去されるものが増える。
(分別収集用指定ごみ袋についても...)
- ▶ 分別収集コストにムダが生ずることに

3. 容器包装類の処理における問題点 ②

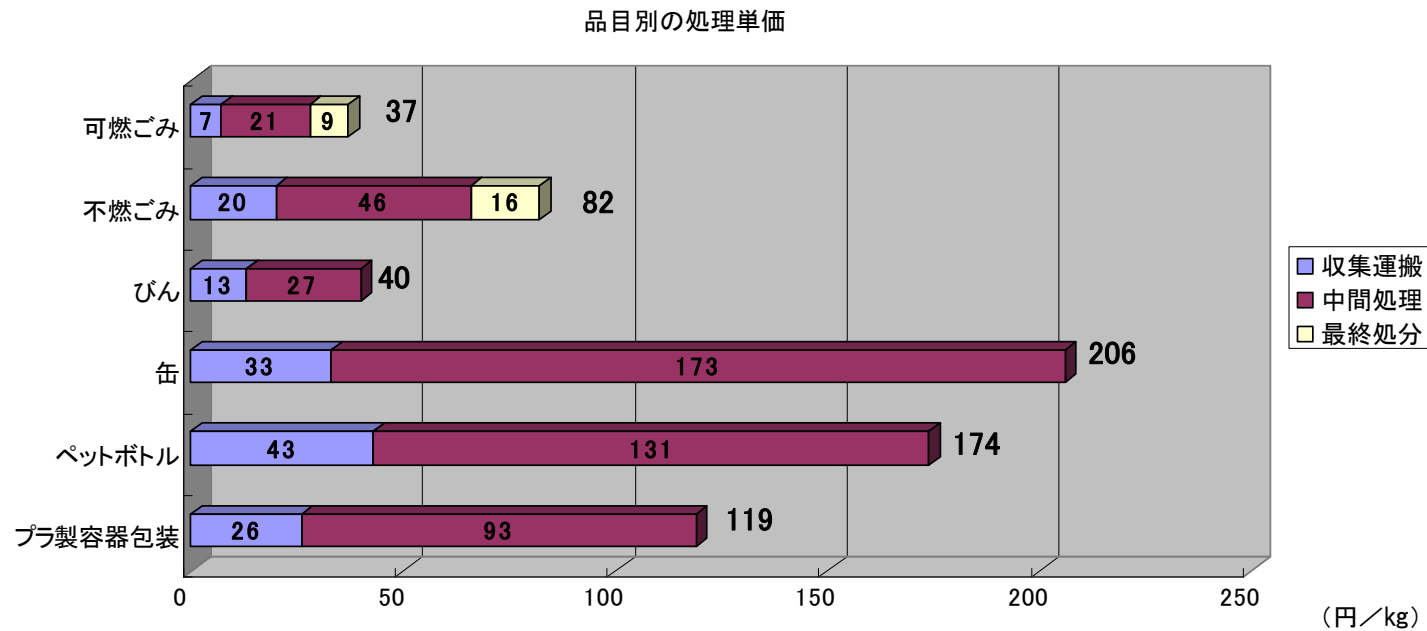
- 識別マークの表示が消費者にとってわかりにくい



- 同一素材・形状だが、物理的に表示不可であるため、表示されていないものがある。
- 表示箇所、サイズが統一されていないため、識別困難なものがある。
- 複合素材（アルミコーティングされた紙、アルミ・プラの張り合わせなど）の表示がわかりにくい。

3. 容器包装類の処理における問題点 ③

■ 市町村のコスト負担が依然として大きい



リサイクルを推進するほど負担が増えることに...

法改正への意見 ①

- 同一素材・形状でも、容器包装類の対象外のもの
(プラスチック製容器包装類)
- 識別マークのわかりにくさ



【消費者感覚で】

- 対象範囲の見直し・・・商品の容器包装に限定せず、同一素材・形状のものであれば対象とするなど
- 識別マークの表示・・・表示箇所、サイズの統一、わかりやすいものを。
複合素材のものについては、あえて表示しないというのも一つの方法
(表示しているものとしてリサイクルすることは不可であるため)



法改正への意見 ②

市町村のコスト負担が大きい



- 事業者側の拡大生産者・・・収集運搬・中間処理についても事業者側に一定の責任・負担を責任の徹底
- 合理化拠出金の見直し・・・現在の算定方法では、リサイクル量が増えるほど、減額される。市町村の負担軽減に結びつくものを

今後の課題（横手市の取り組み） ①

- 発生抑制（リデュース）の優先を【レジ袋削減】

小売店への有料化義務付けの動き・・・行政からの押し付けに対する反発が予想される。



有料化による経済的インセンティブ以外のものを働かせることが効果的と考える

- 具体的には・・・機能性・デザイン性を重視したエコバッグの普及推進。
「持ち歩きたくなる」、「使いたくなる」デザインで、耐久性のあるものを安価で提供。



参考：香港city'super エコバッグ

今後の課題（横手市の取り組み）②

【啓発・周知活動の充実】

○平成28年度～ 新しい分別・収集方法の導入のため、各地域においてきめ細やかな住民説明会を実施



この機会を捉え、容器包装類の分別についても改めて周知徹底を図る。

○環境教育の充実・・・子どもたちを対象とした環境教育の機会充実を図る



小中学校における環境学習だけでなく、社会教育の一環として、市側から働きかける。



ご清聴ありがとうございました。